

災 救 通 信

平成27年
6月1日
第5号

発行

天理教
災害救援
ひのきしん隊
北海道教区隊

逐次発行

事前訓練 実施

日高山脈に残雪が残る4月30日、5月1日の両日、北海道ブロック訓練に伴う事前訓練が、十勝支部管内、鹿追町にて実施された。6月29日からの本期間に備え、各職掌に分かれ現地での最終下見や確認を行った。事前訓練には災害隊本部より長野本部長、中川副本部長、新谷主事など5名と北海道教区伊藤忠義主事、教区隊から奥村隊長ほか12名、また、当該支部より可児支部長、小林隊長、三輪副隊長が参加した。宿営地に集合した一同は早速、結隊式を行い、その後、作業担当、生活担当に分かれての確認作業を行った。またこの日、鹿追町役場に出向き西科商工観光課長、宇井係長との最終の打ち合わせや確認が行われた。翌5月1日には、宿営地から30分程離れた、同町郊外のかんの温泉周辺に作業担当

者が移動し、整備予定の散策路を下見した。5月に入っただとは言え、散策路の所々に60cm以上の残雪があり、折雪に埋まりながらの歩行となった。また、同じ頃、宿営地では生活担当者等が、厨房テントや本部テント等を設置する場所に、実寸大に作られたひもを置いてイメージをしたり、宿営場所への追加電力供給についても綿密な相談を行った。また、別動隊は宿営地からいずれも30分程離れた所にある入浴施設数カ所の下見や交渉も有り、150人を超える参加者の受け入れに備えた準備が進め

宿営地での打ち合わせ。エゾリスも発見！



役場での打ち合わせ。



残雪の散策路を下見。。



大型バックホーで駐車場の整地。

られた。事前訓練として各所の下見を終えた一同は、宿営地に再集結し報告と確認、相談をした後、事前訓練の解散式を行い解散した。

なお、事前訓練後の5月28日～30日には宿営地駐車場整備作業として伊藤忠義鹿鹿追分教会長、奥村教区隊長、小林十勝支部隊長等8名がチェンソーや刈払い機で雑木などを整理し重機を使って整地作業を行った。



スタッフ会議終了後、2班に分かれて教務支庁周辺にて神名流しを実施した。

これまでの動き

ブロック訓練に向け、スタッフ会議開催。

4月1日15時より、教務支庁にて災救援スタッフ会議を実施した。ブロック訓練までの予定確認や、装備物品準備、更には作業、生活などの各職掌に分かれ輸送、作業計画、通信連絡備品発注や資材確認などと細やかな話し合いがなされた。この日は教区スタッフの他、新谷災救援本部主事をはじめ、小林十勝支部災救援隊長など20名が出席した。また、会議終了後には教務支庁から2班に分かれて、神名流しを行って地域ひのきしん活動を行い勇ませていただいた。なお、この他に2、3、4、5月25日には災救援本部にてブロック訓練に向けての会議が行われ、教区災救援隊長、隊長補、副隊長等が出席している。



災救援本部での会議の様子。

♣ 支部巡回実施報告 ♣

6月29日～7月1日鹿追町で実施の「北海道ブロック訓練」へ各支部より5名以上の参加のお願いと、災救援が目指している地域ひのきしん活動の推進、すなわち「ひとことはなしはひのきしん」とお教えいただく布教活動を推進させていただこうとの思いで、教区隊長、隊長補、副隊長等が巡回させていただいている。

十勝支部、空知支部への挨拶と視察とに続き、2月は天龍、札幌北西、上川、旭川支部へ、3月は渡島、余市、小樽へ巡回させていただいた。更に4月は千恵広、釧根、天塩、八雲、函館、網走、北見支部、5月は札幌白豊、札幌東、苫小牧、南空知、富良野、紋別への巡回を行った。更に6月は室蘭、倶知安、札幌中南、南空知、宗谷、日高へ巡回予定である。



網走支部例会



天塩支部例会





●リフレックスガードキャップ ネイビー(月桂樹シルバー)
朱赤とシルバー刺繍



上は支部隊長、教区スタッフ用
下は隊員用アポロキャップ



オリジナルTシャツ。胸のマークのシマフクロウは北海道特有のフクロウ。森の哲学者とも言われる。コンサドーレ札幌のキャラクターにも使われている。

オリジナルアポロキャップ、オリジナルTシャツ販売
このたび、オリジナルTシャツとアポロキャップを作成しました。
Tシャツは作業にも使えるよう長袖タイプもあります。暖気時や
軽作業の時に活用下さい。

アポロキャップ1,800円 Tシャツ半袖1,200円 長袖1,400円
となっています。支部隊長を通じてお求め下さい。
在庫があればブロック訓練でも販売いたします。

北海道ブロック訓練

6月29日～7月1日

各支部より5名以上の参加をお願いします。

災救隊活動報告はこちらへ sai9.hokkaido@gmail.com